



2013年8月30日

独立行政法人建築研究所国際地震工学センター

第100号

〒305-0802 茨城県つくば市立原1 TEL 029-879-0678 FAX 029-864-6777

今月の話題

- IIEE ニュースレター第100号
- 継続は力なり
- リニューアルで更に向上
- 研修生とのつながりを大切に
- 研修プログラム
- 研修生からのレター
- 最終発表会

研修 データベース

IIEE NET (地震防災技術情報ネット)

IIEE-UNESCO レクチャーノート

E ラーニング

シノプシス・データベース (修士論文概要)

Bulletin データベース

地震データベース

2011年3月11日東北地方太平洋沖地震

地震情報

宇津カタログ (世界の地震被害)

地震カタログ (世界の大地震の震源メカニズム、余震分布等)

IIEEニュースレター第100号

国際地震工学センター長 横井 俊明

元研修生の皆様、講師及び元講師の皆様、そして ISEE をご支援頂いている皆様

今回差し上げる ISEE ニュースレターが第100号であることを御知らせ出来て幸いです。皆様の御支援のお蔭で、2013年4月以来約10年間発送を続けることができました。次の10年に向けて、更なる御支援をよろしく御願い申し上げます。



右：横井センター長
左：Mr. Sepehr Rajabi Baniani (地震学コース)

IIEE では、元研修生の皆様の論文出版・発表他の活動の情報を集めています。[\(http://iisee.kenken.go.jp/nldb/\)](http://iisee.kenken.go.jp/nldb/) また、IIEE Bulletin (論文集) は、現在 WEB 版を公開していますが、皆様からの論文・報告・ニュースの投稿をいつでも歓迎いたします。 [\(http://iisee.kenken.go.jp/bltnadb/?action=list\)](http://iisee.kenken.go.jp/bltnadb/?action=list)

今後ともよろしく御願いいたします。

継続は力なり

元国際地震工学センター長 福田 俊文

IIEE Newsletter 100号の刊行、おめでとうございます。



敬意を表します。

1962年に設立された IIEE で、地震学・地震工学研修が開始され、その歴史は半世紀を超えますが、道程は決して順調なものではなく、常に研修内容の改善を図り、研修を魅力あるものにする必要がありました。そのため、Newsletter で IIEE の研修の現状や研究成果を研修生 OB や講師 OB にお知らせし、また彼

手元の資料を紐解いてみましたところ、2003年4月の創刊当初は、年僅かに4月と11月の2回、それに、不定期の特集号のみでした。しかも、2004年には発行しなかったもので、現在の Newsletter は情報提供紙としての体裁が整い、量・内容ともに充実したものとなりました。これは、まさに仕事を引継いだ後輩諸氏のご努力の賜物であると、謝意と

論文募集

IISEE Bulletin は、現在地震学、地震工学、津波に関する論文を募集しております。開発途上国に関するものを対象としていますが、それに限らず募集しています。

送って頂いた未発表の論文は、編集委員会と専門家による査読を行います。投稿料は無料です。

是非チャレンジして下さい。

等から研修に対する意見などを随時伺うことのできる受け皿を設けることは重要と考え、配信を始めたということ、思い出しました。

継続は力なり。研修が続く限り、配信が続くことを期待します。

リニューアルで更に向上

シニアフェロー 元国際地震工学センター長 古川 信雄

IISEE ニュースレターは、2003年4月23日に前任の福田センター長が発行を開始しました。

その後私が引き継ぎ、2006年10月27日号からニュースレターをリニューアルしました。私が初めて発行した号は第6号になりますが、そこに寄せたメッセージは以下の通りです。「IISEE ニュースレターの発行の促進と、IISEE スタッフと元研修生間の積極的な情報交換のため、IISEE ニュースレターをリニューアルいたします。発行回数を増やし、少なくとも月一回以上、インターネットを経由してみなさんにお送りします。皆様からの投稿をお待ちしております。」



スタッフや元研修生の皆様のご協力により、私の4年と3か月のセンター長在任中には、53号のニュースレターを発行することができました。

今後も IISEE ニュースレターが私たちのコミュニケーションの大事なツールとして役立つことを祈念しております。

研修生とのつながりを大切に

政策研究大学院大学教授 元国際地震工学センター長 安藤 尚一

国地センター News Letter 第100号の発行、おめでとうございます。



2010年8月の第59号から今年3月の第94号まで計36回2年8カ月間を担当しました。

この間に東日本大震災があったことと国地センター50周年を迎えたことが大きなトピックでした。特に東日本大震災の直後に多くの卒業生たちから励ましの言葉をもらったことが印象に残っています。国地センターで学んだ約100カ国1600名の世界各地の人のつながりをこのニュースレターを通して強く感じました。

古川センター長時代からセンター長が編集長となり、毎月定期に発行する形をとりました。





楽しむのは今です。

今はきれいな PDF 版にもなり、これからますます多くの人がこの場を通じて、情報交換ができればいいと思います。これからも最新の話、筑波での楽しい話題を期待しています。

研修プログラム

1) ジェネラルミーティング

8月23日、研修生は最終ジェネラルミーティングに臨みました。ジェネラルミーティングは、研修生とスタッフが率直に語り合うことを目的に開催されています。今回のジェネラルミーティングは、最終発表会の後に開催されました。研修生達は修士論文を修了しホッとした様子でした。1人の研修生はもう自分の脳は動いていないと言っていました。全員が指導者とIISEEスタッフに謝意を表していました。IISEEも親愛なる研修生に対し、彼らの最もハードな仕事を終了したこと心から寄り添い一緒に祝したいと思います。

2) バーベキューパーティ

8月28日の勤務時間終了後、建研展示館の中と外で盛大にバーベキューパーティを行いました。約40人の方々にご出席頂きました。ビーフ、チキン、野菜が鉄板の上で踊っていました。全員がパーティを楽しんだようです。フィリピン出身のジュリアスが司会をし、西山功建築研究所理事に乾杯の音頭をお願いしました。ボランティアの国際色豊かな演奏者達がギターやサクソフーンで音楽を奏でました。演奏者の中には(独)防災科学技術研究所の井上公氏や建築研究所企画部長の白井清広氏もいました。音楽は会を大変盛り上げ、聴衆も、ほぼ、満足していたようです。乾杯！

連絡先

IISEE ニュースレターは、IISEE と卒業生の架け橋を目指しています。

ニュースレターへの報告や記事をお待ちしております。皆様の自国での活躍をお知らせ下さい。

また、皆様の同僚やお友達もこのメーリングリストに登録するようにお願いします。

iiseenews@kenken.go.jp
<http://iisee.kenken.go.jp>

バックナンバーは
下記をご覧ください。

<http://iisee.kenken.go.jp/nldb/>

研修生からのレター

1974年～75年の地震工学に参加したペルーのエンジェル・サン・バルトロメ氏から e-mail をいただきました。氏は、鉄筋コンクリート造建築物、組石造・土造構造物に関する実験研究に関する3つのブログを発信しているそうです。これらのブログはスペイン語ですが、研修生はインターネット翻訳等を使って英語にして読んで欲しいとのこと。ブログは、テキストとビデオがはいっているそうです。

Blog 1: <http://blog.pucp.edu.pe/blog/albanileria>

Blog 2: <http://blog.pucp.edu.pe/blog/concretoarmado>

Blog 3: <http://blog.pucp.edu.pe/blog/adobetapia1>

*** 2013年9月13日(金)**

⇒ **2012-2013年閉講式**

2013年最終発表会



個人研修最終発表会プログラム (2012-13コース)

8月22日、23日 国際地震工学センター講堂にて

8月22日 木曜日

No	名前 (コース)	国名	テーマ
1	Mr. RAJABI BANIANI Sepehr (地震学コース)	イラン	アラスバラン(アハール-バルザガン)地震(イラン)を使ったスペクトルインバージョン法によるサイト効果とQ値の推定
2	Mr. KHADKA Bir Bahadur (地震工学コース)	ネパール	ネパールのRC建物を対象とした耐震診断・耐震補強
3	Ms. SU Hninn Htwe (津波コース)	ミャンマー	ミャンマーのラカイン沿岸における津波伝播・浸水の数値シミュレーション
4	Mr. SABARANI Andiyansyah Zulfikar (地震学コース)	インドネシア	地震早期警報システムの西ジャワにおける減災に対するパフォーマンス評価
5	Ms. GALSTYAN Nazeli (地震工学コース)	アルメニア	アルメニアにおけるRC建物の耐震性能向上のための免震補強技術
6	Mr. XIE, Quan-Cai (地震学コース)	中国	緊急地震速報の為に、周波数依存性を持つサイト増幅効果の研究
7	Ms. PEREZ A. Yesica Hypatia (地震工学コース)	ドミニカ共和国	ドミニカ共和国のRC建物を対象とした耐震診断・耐震補強
8	Mr. GALDIANO Julius Mandigma (津波コース)	フィリピン	フィリピン、パンガシナンのリンガエン湾における津波ハザード評価
9	Mr. NYAGO Joseph (地震学コース)	ウガンダ	ウガンダに適用可能なローカルマグニチュードの決定
10	Mr. KAPI Gilbert (地震工学コース)	バブア ニューギニア	橋梁の地震荷重設計手法の日本とバブアニューギニアの比較

8月23日 金曜日

1	Mr. SIFUENTES J. Armando Israel (地震学コース)	ペルー	メガスラスト地震シナリオを使った経験的手法による建物設計の為にスペクトル適合時刻歴の生成
2	Ms. RIVERA R. Rocío Cecilia (地震工学コース)	チリ	免震建物の強震下動的挙動と構造設計手法
3	Mr. WAREK Martin Kele-eh (津波コース)	バブア ニューギニア	バブアニューギニアの南東沿岸における津波伝播・浸水モデリング
4	Ms. LIAN, Chao (地震学コース)	中国	P波初動のエンベロープの傾きの地域依存性に関する研究
5	Mr. WAY Phyto Linn (地震工学コース)	ミャンマー	ミャンマーのRC建物を対象とした修正耐震診断手法
6	Ms. FLORES A. Petronila Guadalupe (地震学コース)	ニカラグア	ニカラグアにおける中・大規模地震のモーメントテンソル解析
7	Mr. ANNAYEV Guvanch (地震工学コース)	トルクメニスタン	東日本大震災における免震建物の応答とトルクメニスタンへの免震の適用
8	Mr. REYES G. Mauricio Esteban (津波コース)	チリ	チリ、イキケ市を対象とした津波リスク評価方法の提案
9	Mr. WIRADIKARTA Chiko Bhakti Mulia (地震学コース)	インドネシア	いわき市役所における表面波を使った地下速度構造探査
10	Ms. KOCAK Pinar (地震工学コース)	トルコ	郡山市の庁舎建物の非線形応答解析と損傷評価
11	Mr. LUMBANG Rey Macapagal (地震学コース)	フィリピン	フィリピン断層帯に発生した大地震の震源再決定とそれらの断層面